

IV 関係様式

■ 中堅養護教諭資質向上研修に係る作成文書一覧 ※提出先：総合教育センター

文書名	様式	作成者	提出期限
研修計画立案のための評価票	様式 1 (P. 14)	(研修教員) 校長	※市町村立学校は、市町村教育委員会（以下「地教委」）から示された期日に従う。 ※市町村立学校は、様式 1 は親展扱い。 まとめて提出 締切：令和 7 年 5 月 16 日（金） ※様式 3 は代替がある対象者分のみ
研修計画書	様式 2 (P. 15)	(研修教員) 校長	
代替申請書	様式 3 (P. 16)	校長	
選択研修変更願	様式 4 (P. 17)	校長	研修計画提出後、変更する場合に提出。
選択研修報告書 ※ 2 回以上の研修会は 終了後 1 枚にまとめて提出	様式 5 (P. 18)	研修教員	※市町村立学校は、地教委から示された期日に従う。 8 月末日まで受講分 締切：令和 7 年 9 月 30 日（火） 9 月以降受講分 締切：令和 8 年 1 月 30 日（金）
成果報告書（事後評価票を含む）	様式 6 (P. 19、20)	(研修教員) 校長	※市町村立学校は、地教委から示された期日に従う。 ※市町村立学校、県立学校ともに、様式 6 は親展扱い。
研修報告書	様式 7 (P. 21)	(研修教員) 校長	締切：令和 8 年 2 月 27 日（金）
校内研修記録（例）	様式例 (P. 22)	研修教員	※学校保管

提出の所定ルート

(紙媒体) (紙媒体) (PDF)
市町村立学校：校長 → 市町村教育委員会 → 教育事務所 → 総合教育センター

※教育事務所から総合教育センターへの提出は、教職研修班宛でデスクネッツメールで提出してください。

(PDF)
県立学校：校長 → 総合教育センター

※総合教育センターへの提出は、教職研修班宛でデスクネッツメールで提出してください。

※記載の提出期限は総合教育センターの期限である。地教委へは地教委から示された期日に従う。

※報告様式の公印はすべて省略する。

※各種様式は総合教育センターのホームページからダウンロードが可能である。

<https://www.pref.miyagi.jp/site/sokyos/yousiki.html>



様式ダウンロード

令和7年度中堅養護教諭資質向上研修

研修計画立案のための評価票

学 校 名		〇〇〇市立〇〇〇学校	職 氏名	養護教諭	〇〇 〇〇				
項 目	観 点	自己評価 (○を記入)				校長評価 (○を記入)			
		A	B	C	D	A	B	C	D
学校の 教育力を 構成する 実践力	保健管理力	学校保健安全法を踏まえ、健康診断や健康観察等で得た保健情報から把握した健康課題の解決に向けて、計画的・組織的に取組を推進するとともに他の教職員への助言・指導ができる。 他の教職員、外部の関係機関と連携し、健康診断や健康観察の結果を踏まえた疾病や感染症の管理・予防とともに、他の教職員への助言ができる。							
	保健教育力	救急処置及び事故等の 他の教職員、外部の の教職員への助言・ 子供たちの実態から における指導計画の作 担任や生徒指導主事 できるとともに、校 学校医等の校内の専 の立案・改善に助言 健康相談に対応する できる。							
	健康相談 及び 保健指導力	教育相談やカウンセ ルカウンセラー等校 共感的コミュニケーション 子供たちの成長の段階等に応じた支援に関する専門的知識を有し、他の教職員への助言ができる。 発達障害を含む障害等への理解など、子どもたちを多面的・総合的に理解し、他の教職員への助言ができる。 心のケアの充実のため、子供たちの心の変化や状況を中長期的に把握できるとともに、その視点を持つことの必要性を他の教職員へ助言できる。							
	子供理解	地域・関係機関と関係を深め、連携・協働して体制を構築し、保健組織 学校教育目標等の実現に向けて、地域・学校の実情や子供たちの健康 し、適切に実施できるとともに、他の教職員との共有ができる。 他の教職員とのコミュニケーションを保ち、協働に向けた協調性を持 握・調整ができる。 日常的な関わりや情報共有の中から子供たちの変化に気づき、いじめ するとともに、組織的対応と体制整備を支援できる。							
	学校を 支える力	学校保健安全法を踏まえ、健康診断や健康観察等で得た保健情報から把握した健康課題の解決に向けて、計画的・組織的に取組を推進するとともに他の教職員への助言・指導ができる。 他の教職員、外部の関係機関と連携し、健康診断や健康観察の結果を踏まえた疾病や感染症の管理・予防とともに、他の教職員への助言ができる。							
実践力の 基盤とな る意欲・ 人間性等	教育への 情熱	子供たちに対する深い愛情を持っている。 教員としての高い使命感と情熱を持っている。 子供の命を守る強い覚悟を持っている。 学校を安全で安心な学びの場とする心構えを持っている。 教育者としての高い							
	たくましく 豊かな 人間性	精神的なたくましさ 広く豊かな教養と情 コミュニケーション 他者を思いやる心を 心身の健康を保持し							
	自己研鑽力	高度専門職としての 自ら学び続け、成 課題意識を持って 客観的な自己分析が 教員同士で共に学び OJTを支援し、若手教員							
	主な研修歴	例) (H〇〇) 〇〇〇研修会 (H〇〇) 〇〇〇研修会 (R〇) 〇〇〇〇講習 ※欄に入る程度で記入してください。							
	校長所見	※打ち込んでいただいて構いません。 4月1日以降の日付 令和 7 年 4 月 〇 日 〇〇〇市立〇〇〇学校 校長 〇〇 〇〇〇 (公印省略)							

自己評価(個人内評価)

得意
(強み)

A

B

C

D

不得意
(弱み)どちらも「○」を打ち込んでく
ださい。

校長評価

○ 中堅養護教諭として期待される水準を

A・・・上回る

B・・・やや上回る

C・・・やや下回る

D・・・下回る

学校名	〇〇〇〇市立〇〇〇〇中学校			氏 名	〇〇 〇〇			校内研修テーマ	例) 専門性を生かした校内における危機管理のあり方			
	校 内 研 修			校内研 日数	校 外 研 修				備考			
					基本研修・専門研修（会場等）		基本研 日数	専門研 日数	選択研修（会場等）		選択研 日数	
4月	4 / 10	【講話】事故発生時における校内の緊急時体制		1								
5月					5 / 1 ～ 基本研修1（オンデマンド配信） 5 / 30		1	1				
6月					5 / 21 専門研修1（総合教育センター） 6 / 19 基本研修2（総合教育センター）		1					
7月	7 / 7 7 / 24	【協議】SC・SSW・特別支援コーディネーターとの健康課題についての協議 【実技実習】教職員対象のAED講習会（企画・運営）		2	7 / 15 ～ 専門研修2（オンデマンド配信） 8 / 8			1				
8月	8 / 20 —	【講義】精神保健研修会（運営と受講）		1					6 / 6 重度・重複障害教育研修会		1	
9月	9 / 4	【授業実践】第6学年体育科保健領域「病気の予防」		1	9 / 24 専門研修3（総合教育センター）			1	9 / 食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会		1	
10月												
11月					11 / 7 基本研修3（総合教育センター）		1		10 / 30 養護教諭スキルアップ研修会			
12月												
1月					12 / 3 専門研修4（総合教育センター）			1				
2月												
3月												
計	※ 授業実践 合計		1	校内研修 合計	5 日	基本研修 合計		4	選択研修 合計		3	校外研修 合計
	※ 授業実践以外の研修 合計		4			専門研修 合計			※ 代替申請 合計		10 日	

令和 7 年度中堅養護教諭資質向上研修

代替申請書

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

〇〇〇市教育委員会教育長 殿

【市町村立学校】

市町村教育委員会教育長宛てで作成してください。

【県立学校】

総合教育センター所長宛てで作成してください。

学校名 〇〇〇市立〇〇小学校

校 長 ○○ ○○ (公印省略)

下記のとおり相違ないことを証明し、選択研修の代替を申請します。

記

上の学校名を入力すると、自動入力されます。

学 校 名	〇〇〇市立〇〇小学校
研 修 教 員 氏 名	○ ○ ○ ○
代 替 日 数	1 日
該 当 研 修 等	独立行政法人教職員支援機構主催研修
備 考	修了証の写しを添付

「代替日数」と「該当研修等」は、総合教育センター担当指導主事に問い合わせ、確認の上、入力してください。

修了証等の写しがある場合は、備考欄にも入力してください。

※所定のルートで提出してください。

令和 7 年度中堅養護教諭資質向上研修

選 択 研 修 変 更 願

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

〇〇〇市教育委員会教育長 殿

【市町村立学校】

市町村教育委員会教育長宛てで作成してください。

【県立学校】

総合教育センター所長宛てで作成してください。

学校名 〇〇〇市立〇〇小学校

校 長 ○○ ○○ (公印省略)

下記のとおり、選択研修の変更をしたいので、許可くださるようお願いします。

記

研修会の名称の後に、
「(研修会の主催団体名)」
を必ず記入してください。

研修教員氏名		〇〇 ○〇
変 更 前	研 修 会 名	小・中学校特別活動研修会 (総合教育センター)
	研 修 期 日	令和 7 年 8 月 5 日 (火) ~ 令和 7 年 8 月 6 日 (水)
	研 修 会 場	総合教育センター
	研 修 内 容	今求められる特別活動における「主体的・対話的で深い学び」とは何かを講義を通して理解を深める。また、実践発表と校種別に分かれた授業づくりを演習をとおして、特別活動における指導力の向上を図る。
変 更 後	研 修 会 名	長期研修研究発表会 (総合教育センター)
	研 修 期 日	令和 8 年 2 月 5 日 (木) ~ 令和 8 年 2 月 6 日 (金)
	研 修 会 場	総合教育センター
	研 修 内 容	宮城県の教育課題に向けて研究に取り組んだ「専門研究」と、研究員が設定したテーマにより教科・領域の指導実践に係る研究に取り組む「実践力向上研究」の研究・研修成果についての発表を聴講する。
事 由 (具 体 的 に)		体調不良により10月30日の養護教諭スキルアップ研修会を欠席したため、年度途中でも申し込みのできる研修から、中堅養護教諭としてこれから学校の力となっていくための知見を深めることを目的として、長期研修研究発表会の受講への変更を希望します。

プルダウンリストは、直接入力も
できます。

※所定のルートで提出してください。

変更に関する具体的な事由を記載してください。
※ 自身の研究テーマを踏まえて考えること。

令和7年度中堅養護教諭資質向上研修

選 択 研 修 報 告 書

所 属 校 名	〇〇〇市立〇〇小学校		
研 修 教 員 氏 名	〇〇 〇〇		
1 研修会名	養護教諭スキルアップ研修会		
2 研修期日	令和 7 年 10 月 30 日 (木) ~ 令和 年 月 日 ()		
3 研修会場	総合教育センター		
4 研修概要 (日程等)	詳細は「6」に記入するので、概要のみで構いません。 9 : 2 0 (受 付) 9 : 4 5 オリエンテーション 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0 講義「子供の心の支援について学ぶ～トラウマインフォームドケア～」 1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 4 0 演習「健康相談～学校における病気の子供の心身の支援～」 1 5 : 4 0 ~ 1 6 : 0 0 コンプリーション		
5 研修に対する評価	プルダウンリストから選択してください。 ※ 今回の研修について、当てはまる記号を下から選んで、[] に記入してください。 今後の教育活動において、 ア 参考になる内容がとても多かった イ 参考になる内容が比較的多かった ウ 参考になる内容が少ししかなかった エ 参考になる内容がなかった		
6 研修の成果・感想等	研修会を通して、 ■ 受講した内容から特に学んだこと ■ 学校現場で実践したいこと などを具体的に記述してください。		

記入上の留意点

- (1) 8月末日までの研修は9月末日までに、それ以降については、1月末日までに提出します。
 ※2月中に行われる研修会については、参加後に提出となります。
 ※2回以上で実施する研修会については、8月までに全ての研修が終了していなければ、終了後に1枚にまとめ、1月末日までに提出してください（その都度、分けて提出する必要はありません）。
- (2) 研修会ごとに1枚ずつ作成して提出してください。
- (3) 報告書は必ず、学校長の指導の下作成し、提出してください。

令和7年度中堅養護教諭資質向上研修

成果報告書

学校名	〇〇市立〇〇〇小学校	職氏名	養護教諭	〇〇 〇〇
-----	------------	-----	------	-------

1 主な研修内容と成果

校外研修

主に、

- 基本研修1～3
- 専門研修1～4
- 選択研修

について、どのような学びがあったのかを具体的に記入してください。

校内研修

校内研修テーマ

例) 専門性を生かした校内における危機管理のあり方

自身の校内研修テーマについての研究内容を分かりやすくまとめて記入してください。

2 今後の研修課題

中堅養護教諭としての自分自身のこれからの展望を含めて、記入してください。

注 A 4 両面印刷とする。

3 中堅養護教諭資質向上研修の事後評価

項目		観 点	自己評価 (○を記入)				校長評価 (○を記入)					
			A	B	C	D	A	B	C	D		
学校の教育力を構成する実践力	保健管理力	学校保健安全法を踏まえ、健康診断や健康観察等で得た保健情報から把握した健康課題の解決に向けて、計画的・組織的に取組を推進するとともに他の教職員への助言・指導ができる。 他の教職員、外部の関係機関と連携し、健康診断や健康観察の結果を踏まえた疾病や感染症の管理などとともに、他の教職員への助言ができる。 救急処置及び事故対応ができる。										
	保健教育力	他の教職員、外部の関係機関との連携、健康診断や健康観察の結果を踏まえた疾病や感染症の管理などとともに、他の教職員への助言ができる。 子供たちの実態に合わせた指導計画を立てることができる。										
	健康相談及び保健指導力	担任や生徒指導員と連携して、健康課題の解決に向けて、計画的・組織的に取組を推進するとともに他の教職員への助言・指導ができる。 学校医等の校内での健康相談の立案・改善に協力し、健康相談に対応することができる。										
	子供理解	教育相談やカウンセリング、心理カウンセリングなど、多面的・総合的に理解し、他の教職員への助言ができる。 共感的コミュニケーションを図ることができる。										
	学校を支える力	子供たちの成長の段階等に応じた支援に関する専門的知識を有し、他の教職員への助言ができる。 発達障害を含む障害等への理解など、子どもたちを多面的・総合的に理解し、他の教職員への助言ができる。 心のケアの充実のため、子供たちの心の変化や状況を中長期的に把握できるとともに、その視点を持つことの必要性を他の教職員へ助言できる。 地域・関係機関と関係を深め、連携・協働して体制を構築し、保健組織活動を推進する。 学校教育目標等の実現に向けて、地域・学校の実情や子供たちの健康課題を踏まえ、適切に実施できるとともに、他の教職員との共有ができる。 他の教職員とのコミュニケーションを保ち、協働に向けた協調性を持つとともに、関係機関との連携・調整ができる。 日常的な関わりや情報共有の中から子供たちの変化に気づき、いじめなどの問題や不登校を学校全体で共有するとともに、組織的対応と体制整備を支援できる。										
実践力の基盤となる意欲・人間性等	教育への情熱	子供たちに対する深い愛情を持っている。 教員としての高い使命感と情熱を持っている。 子供の命を守る強い覚悟を持っている。 学校を安全で安心な学びの場とする心構えを持っている。 教育者としての高い倫理観と責任感を持っている。										
	たくましく豊かな人間性	精神的なたくましさを持っている。 広く豊かな教養と常識を身に付けている。 コミュニケーション力を備えている。 他者を思いやる心を持ち、心身の健康を保持している。 心身の健康を保持し、適切に自己管理ができている。										
	自己研鑽力	高度専門職としての教育公務員であることを自覚し、自ら学び続け、成長し続ける意欲を持っている。 課題意識を持って改善に努め、変革する挑戦精神を持っている。 客観的な自己分析ができる。 教員同士で共に学び合う意識を持っている。 OJTを支援し、若手教員への助言ができる。										

自己評価(個人内評価)

得意
(強み)

A

B

C

D

不得意
(弱み)

研修を通しての変容を加味しながら自己評価を行う

どちらも「○」を打ち込んでください。

校長評価

○ 中堅養護教諭として期待される水準を

A・・・上回る

B・・・やや上回る

C・・・やや下回る

D・・・下回る

研修以前との比較を含め、評価する

以上のとおり報告します。

令和 8 年 ○ 月 ○ 日

学校名 ○○市立○○○小学校

研修教員 職・氏名 養護教諭 ○○ ○○

校長所見

※ 打ち込んでいただいて構いません。

「学校名」「氏名」は表の学校名・氏名を記入していると自動入力されます。

令和 8 年 ○ 月 ○ 日

○○市立○○○小学校

校長

○○ ○○

(公印省略)

学校名	〇〇〇〇市立〇〇〇〇中学校			氏名	〇〇 〇〇			校内研修テーマ	例) 専門性を生かした校内における危機管理のあり方		
	校 内 研 修			校内研 日数	校 外 研 修					備考	
					基本研修・専門研修（会場等）		基本研 日数	専門研 日数	選択研修（会場等）		選択研 日数
4月	4 / 10 【講話】 事故発生時における校内の緊急時体制			1							
5月					5 / 1 ～ 基本研修1（オンデマンド配信） 5 / 30 5 / 21 専門研修1（総合教育センター）		1	1			
6月					6 / 5 基本研修2（総合教育センター）		1				
7月	7 / 7 【協議】 SC・SSW・特別支援コーディネーターとの健康課題についての協議 7 / 24 【実技実習】 教職員対象のAED講習会（企画・運営）			2	7 / 15 ～ 専門研修2（オンデマンド配信） 8 / 8			1			
8月	8 / 20 【講義】 精神保健研修会（運営と受講） —			1					7 / 24		
9月	9 / 4 【授業実践】 第6学年体育科保健領域「病気の予防」 —			1	9 / 25 専門研修3（総合教育センター）			1	9 /		
10月											
11月					11 / 7 基本研修3（総合教育センター）		1		10 / 30 養護教諭スキルアップ研修会 体調不良で欠席		
12月											
1月					12 / 3 専門研修4（総合教育センター）			1			
2月									2 / 5 長期研修研究発表会（総合教育センター）		1
3月											
計	※ 授業実践 合計			1	校内研修 合計		5 日	基本研修 合計		3	校外研修 合計
	※ 授業実践以外の研修 合計			4				専門研修 合計		4	※ 代替申請 合計
										0	10 日

注) ※は直接数字を打ち込んでください。

〇〇〇〇市立〇〇〇〇中学校

養護教諭

〇〇 〇〇

の令和7年度の中堅養護教諭資質向上研修計画書を、上記のとおり提出します。

〇〇〇〇市立〇〇〇〇中学校

校長

〇〇 〇〇

(公印省略)

(様式例)

中堅養護教諭資質向上研修 校内研修記録

学校名

研修教員 職 氏名 養護教諭

月 日 ()	研修場所		
	時間帯		～
研修内容等			
感想			
備考			

月 日 ()	研修場所		
	時間帯		～
研修内容等			
感想			
備考			

注1 備考欄に、指導者所感を記入します。

注2 研修内容は簡潔に記入し、研修の改善等に活用できるようにしてください。

注3 校内研修の記録とし、作成後は学校保管としてください。

記入例

欠 席 届

〇〇〇 第 〇〇 号
令和〇年 〇月 〇日

宮城県総合教育センター所長 殿

学校名 〇〇市立〇〇学校

校長名 〇〇 〇〇

(公印省略)

下記のとおり、研修に参加できませんので届け出ます。

記

研 修 会 番 号	〇〇〇〇
研 修 事 業 名	〇〇〇〇研修会
受講者職・氏名	養護教諭 〇〇 〇〇
参加できない日	令和 〇年 〇月 〇日 (〇)
欠 席 の 態 様 (〇で囲む)	ア 一 部 欠 席 (研修開始時間から 時 分まで) (時 分から研修終了時間まで) イ 終 日 欠 席
事 由 (具体的に)	インフルエンザのため

※指定研修(すべての校種・職種対象)の選択研修として申し込んでいた場合には、以下の該当する指定研修を〇で囲んでください。

ア 初任研3年目

イ 中堅研

該当している場合は、〇で囲みます。

宮城県総合教育センター処理欄

※ここには記入しないでください

<注意事項>

- ① 参加できない事由が発生した場合は、以下のとおり、速やかに電話連絡し、欠席する場合の対応等を確認すること。
市町村立学校 → 地教委 及び 宮城県総合教育センター研修会担当に電話連絡
県立学校 → 宮城県総合教育センター研修会担当に電話連絡
- ② 本様式は、上記の電話連絡を行った後に作成し、提出すること。
- ③ 上記の電話連絡及び本様式の提出は、研修会開催日ごとに行うこと。

記入例

期日変更・延期願

〇〇〇 第 〇〇 号
令和〇年 〇月 〇日

宮城県総合教育センター所長 殿

学校名 〇〇市立〇〇学校

校長名 〇〇 〇〇

(公印省略)

下記のとおり、研修会への参加を（~~期日変更~~・延期）したいので、許可くださ
るようお願いします。

記

研 修 会 番 号	A 1 0 5 0	
研 修 事 業 名	中堅養護教諭資質向上研修	
受講者職・氏名	養護教諭 〇〇 〇〇	
期 日 変 更 願	研修会開催日	令和 年 月 日 ()
	研 修 会 場	
	変 更 希 望 日	令和 年 月 日 () への変更を希望します。
	研 修 会 場	
延 期 願	受講希望年度	令和 8 年度 への変更を希望します。
事 由 (具体的に)		現在妊娠中であり、令和7年〇月から産前・産後休暇に入り、その後、育児休業取得予定のため。

該当しない部分は空白。

宮城県総合教育センター処理欄

※ここには記入しないでください

<注意事項>

- ① 「願」の種別については、不要部分を取り消し線で見え消しすること。
- ② 期日変更または延期を希望する事由が発生した場合は、以下のとおり、速やかに電話連絡し、期日変更または延期する場合の対応等を確認すること。
市町村立学校 → 地教委 及び 宮城県総合教育センター研修会担当に電話連絡
県立学校 → 宮城県総合教育センター研修会担当に電話連絡
- ③ 本様式は、上記の電話連絡を行った後に作成し、提出すること。
- ④ 期日変更の電話連絡及び期日変更願の提出は、研修会開催日ごとに行うこと。
- ⑤ 延期願は、年度始めに提出し、複数年度にまたがる場合は、毎年度提出すること。